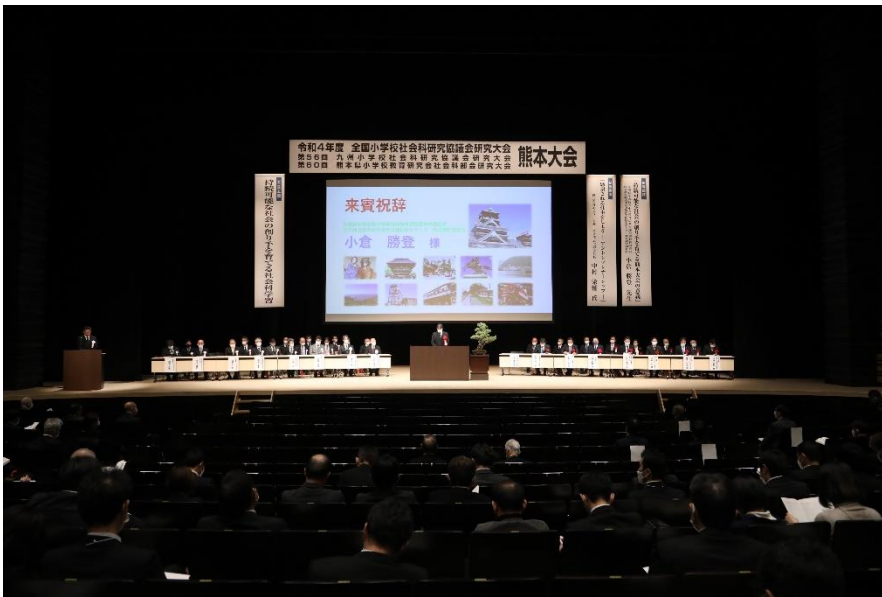


令和4年度全国小学校社会科研究協議会研究大会  
第56回九州小学校社会科研究協議会研究大会  
第60回熊本県小学校教育研究会社会科部会研究大会

**熊本大会**

**多数のご参会、ありがとうございました。  
心より御礼申し上げます。**

### 【大会1日目】



全体会場場の「熊本城ホール」には、全国各地より 200 名を超える参加者が集い、行われました。

佐土原 智彰 副実行委員長の開会の言葉により、「熊本大会」が開会しました。開会行事は、来賓として、指導講評を頂いた 小倉 勝登 文科省調査官をはじめ、記念講演をいただいた株式会社モスフードサービス代表取締役社長 中村 栄輔氏、熊本県市教育長、熊本市教育次長、各会場校講師、全小社研顧問、元熊本

県小社研会長の先生方にご登壇いただき、開催されました。はじめに、和田 幹夫 全小社研会長、青木 透 実行委員長の挨拶がありました。青木実行委員長の言葉からは、数十年ぶりに全国大会を開催する熊本県の熱い意気込みが伝わってきました。続いて、小倉文科省調査官、白石 伸一 熊本県教育長、遠藤 洋路 熊本市教育長に祝辞を賜りました。

全体会では、熊本県実行委員会研究部 平川 純哉 より研究概要の提案がありました。「持続可能な社会の創り手を育てる社会科学習」の研究テーマのもと、これからの時代を担う子どもたちに必要な力を育てるための社会科学習について提案がありました。引き続き、小倉文科省調査官より指導講評をいただき、大会2日目の授業で「子どもの姿」から検証しましょうと呼びかけがありました。久しぶりに目の前でされる提案授業を前に参加の先生方も役員の我々も心が躍りました。



記念講演では、株式会社モスフードサービスの中村栄輔氏よりご講演をいただきました。「アントレプレナーシップ」という、企業だけでなく、我々学校現場の職員にも生かせる話をたくさん聞くことができました。「心は熱く、頭は冷静に」「一生勉強一生青春」中村社長の座右の銘も心に残るものでした。

最後に、次期大会東京都の DVD が流され、来年 4 会場に分かれて行われる東京大会への期待が膨らむ中、一日目の幕を閉じました。

## 【大会2日目】

大会2日目は、熊本市立向山小学校、熊本市立出水小学校、熊本市立砂取小学校の三会場に分かれ、学年別課題研究会、公開授業、学年別授業研究会が行われました。久しぶりの対面で行われる研究会。学年別課題研究会では、全国各地から素晴らしい実践が発表され、議論も熱を帯びました。さらに公開授業。目の前に繰り広げられる子どもと先生のやりとりに、参観の先生方の熱も加わって、熊本県が目指す授業を存分に見ていただくことができました。最後の授業研究会では、忌憚のないご意見を次々に頂き、白熱した議論を交わすことができました。

今大会を開催するにあたり、全小社研の先生方をはじめ、様々な先生方に多大なるご協力を頂きました。また、開催日程の変更等、ご参会の先生方には、直前までいろいろとご迷惑をおかけしたことと思います。しかし、我々熊本県の社会科に関わる者にとっては、大変意義深い大会となりました。今大会の学びをこれから活かしていきたいと思えます。多数のご参会、誠にありがとうございました。来年度、東京大会の更なる盛会を期待します。



第1会場熊本市立向山小学校 全体会の様子



第2会場熊本市立出水小学校 公開授業の様子



第3会場熊本市立砂取小学校 授業研究会の様子